



とつきび

2021/ 8

No.95

発行／最上ふれあい学園

編集／最上ふれあい学園広報委員会

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4 4 6 7

TEL 0233-45-2236 ・ FAX 0233-45-2011

HPアドレス：<http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>

Eメールアドレス：mogamifg@vega.ne.jp



P 2 新年度のご挨拶

P 3 フォトコーナー

P 4～5 スポーツフェスタ（代替行事）

P 6 コロナワクチン接種について／新しい仲間が増えました
新職員紹介／編集後記 他



桜を見ながら…



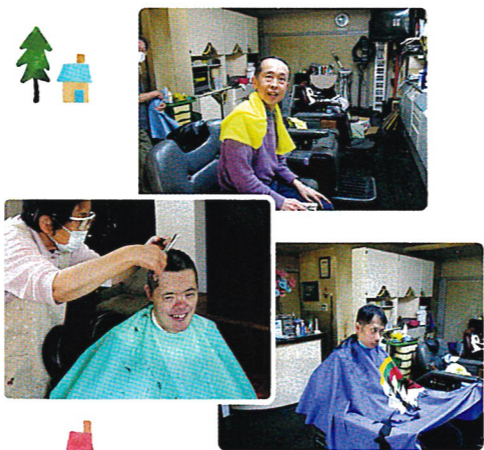
観桜会



GW前森高原ドライブ



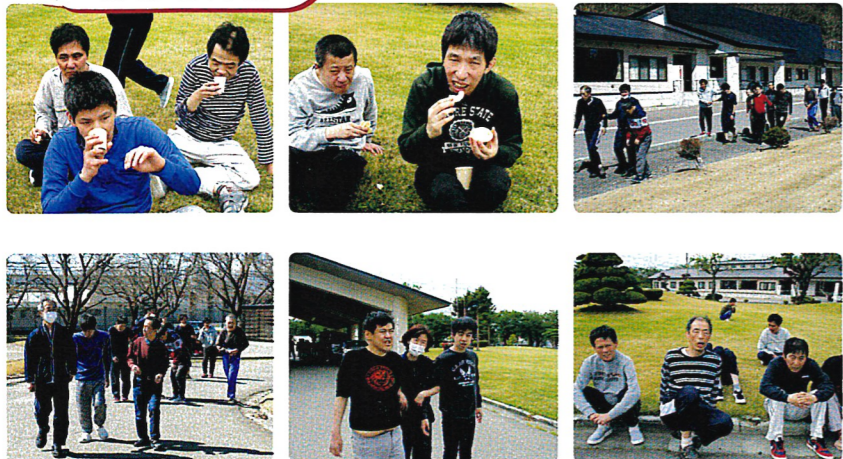
床屋



自主活動



春のさんぽ



新年度のご挨拶

園長 松井 平喜

スローガン
くいつもと変わらぬ安心を、
いつもと同じ日常をく

はじめに

広報紙「ときび」第95号が発行となる8月には、新型コロナウイルスのワクチンの供給も進み、感染症も収束に向かっているといわれていますが、まさかこれほど長引くとは思ってもみませんでした。

保護者の皆様には、昨年2月の雪まつり以来、ご来園の自粛をお願いしておりますので、長期間にわたり利用者様との面会やご自宅への帰省もできず、大変寂しい思いと、ご心配をおかけしていることと存じます。ご家族、関係者皆様のご理解とご協力をいただき、学園では、利用者様及び職員・家族におきましても誰一人として感染することなく健康に過ごすことができっております。これも皆様のご協力のおかげと、改めて心より感謝申し上げます。

令和3年1月、コロナ禍ではありましたが、「最上ふれあい学園開設30周年を祝う会」を開催いたしました。全ての行事が自粛ムードの中、利用者様と職員が一丸となって開催

し、無事に祝う会を成し遂げた事で職員の連帯意識が一層高まり、職員も利用者様も新たな気持ちで新年のスタートを切ることができました。

スローガンについて

昨今、感染症をはじめ、様々な自然災害により施設生活が危機にさらされる事が多く、このような恐怖や緊張感をご利用者や職員にとつても大きなストレスになります。平時から、自然災害や感染対策への高い意識を持ち、安心できる生活の保障と、安心して働くことができるようにしなければなりません。このような理由から、今年度のスローガンを「いつもと変わらぬ安心を、いつもと同じ日常を」といたしました。

今年度の事業について

65歳以上の利用者様のワクチン接種が5月下旬から開始となり、8月に、利用者様及び職員全員がワクチン接種を終える予定であります。ま

た現状におきまして、全国的な感染状況からみましても、今年度の行事の開催や面会、帰省等につきましても、昨年同様の対策の継続が必要と思われまます。

6月に開催したスポーツフェスタにつきましても、紙面でご紹介のとおり、感染対策により3グループに分かれてレクリエーション的な内容で実施し楽しんでいただきました。

今後の事業につきましても、万全な感染対策をとり可能な限り、いつもと変わらない、楽しみと潤いのある生活となるよう努力してまいります。しかしながら状況によっては、利用者様はじめ関係者の皆様の安全を第一に考え、開催の自粛や規模縮小等をせざるを得ないこと、どうかご理解とご容赦を頂ければと存じます。

生活環境改善について

本年度、東京都施設整備費補助事業の補助金助成を受け、受変電設備更新と暖房配管更新の大規模修繕を実施いたします。開設から30年を経過し老朽化した設備の更新を行うことで、今まで以上に夏季及び冬期間においても快適な住環境の維持が図られます。その他にも、本館居住棟のサッシの交換も計画しており、

最後に

開設から32年目を迎え、最上ふれあい学園は、本年度第9期基本計画のスタートの年となりました。数々の経営課題や自然災害、感染症など多様な時代であります。地域との共生と「和顔愛語」の理念の基に、高い志をもって、職員一人ひとりが、各自の職務や役割に責任をもって取り組む努力をしてまいります。

あらためまして、今後共、関係各位皆様方の施設への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。挨拶いたします。



スポーツ

フェスタ

(代替行事)

訓練棟

6月18日に朝陽の家にて、スポーツフェスタの代替行事として、ウォークラリー大会が開催されました。ウォークラリーのコース中、おやつカード、そしてクイズが用意されており、参加者の皆さんは、お昼からのスペシャルおやつが書かれているおやつカードを引いたり、一生懸命クイズに挑戦したりして、初夏のウォークラリーを楽しんでいました。

ウォークラリー



ドライブ



からは体育室でパン食い競争ならぬ菓子食い競争を行いました。和菓子、洋菓子、様々な種類の菓子を吊るし、自分好みの菓子を選んで頂きました。天気も良く初夏らしい天候の下、有意義な時間を過ごされました。



お弁当



6月8日にスポーツフェスタの代替行事を行いました。午前中はドライブを利用者の皆様は車窓から初夏の景色を楽しんでおられました。お昼は体育室でお弁当を食べ、午後



西棟

6月1日に本館正面玄関にて、スポーツフェスタの代替行事として、宝釣り大会が開催されました。会場には万国旗を掲揚し、参加者の皆さんはおやつが入った小袋を釣り上げたり、競技者を拍手や声援で応援したり、スポーツフェスタさながらの熱気に包まれ、和やかなムードで宝釣りを楽しみました。当日は気温も丁度よく、初夏の風を肌で感じながらの外での昼食会では、利用者様・職員共に特別弁当や温かい汁ものに舌鼓を打ち、楽しく語らいながら大会を終えることが出来ました。



田植え



5月21日に令和3年度の田植え行事を行いました。当日はあいにくの雨模様で、訓練棟内で園長からの挨拶を聞いた後、集合写真を撮り、いよいよ植え方開始です。皆様やる気に満ち溢れています！例年ですと手植え後に田植え機を使用し植えているのですが、今年利用者はより苗を渡してもらい、田植え機メインで行いました。また田植え機で植えているのと同時進行で、細部の手植えをしたり、苗箱を洗う利用者様もあり、作業を分担し効率よく行っています。



新型コロナウイルスワクチン接種について

最上町健康福祉課を通じて予防接種の手続きを行って頂きました。

まず初めに、医療従事者の先行接種としてふれあい学園の看護師2名が4月23日に1回目の接種を行い、3週間後の5月13日に2回目の接種を行いました。副反応も心配されませんが、大きな問題もなく終わっております。

5月24日、65歳以上の利用者様8名の1回目の接種、6月14日に2回目の接種、7月

16日残りの利用者様74名の1回目の接種、8月6日2回目の接種となっております。

初めての体験で不安な面が多々ありますが、万全の態勢を整え対応したいと考えております。

7月20・21・28・30日に職員1回目の接種予定で3週間後に2回目の接種予定となります。

新しい仲間が増えました！

渡部 秀弥 さん
わたなべ ひでや



- 入所日／令和3年5月
- 出身地／最上町
- 本人より一言／ふれあい よろしく！

新職員の紹介

佐々木 匡海
ささき まさうみ



- 趣味・特技
野球・ダーツ
- 自己PR
右も左もわかりませんが、一生懸命頑張ります。

伊藤 浩一
いとう ひろいち



- 趣味・特技
YouTube鑑賞・魚をさばく
- 自己PR
毎日が勉強のつもりで頑張ります。

ふれあいマルシェ



コロナ禍の中、地域の皆様への感謝の気持ちと、利用者様との交流行事として「ふれあいマルシェ」と題した学園産サクランボの即売会を7月1日に行いました。

当日はあいにくの小雨模様でしたが、早朝より職員が収穫した色鮮やかなサクランボを目当てに長い行列ができ、次から次へと売れていきました。次回は秋ごろの開催を予定しております。お楽しみに！



編集後記

新型コロナウイルスのワクチン接種も順調に進んでおり、徐々にはありますが以前の生活に戻れる兆しは見えてきたような気がします。しかし個人的な感想として、飲食店を筆頭としてこのコロナ禍による甚大なる影響を受けた人々にはまだまだ実感することとは難しいと思われれます。感染予防対策をしっかりと守り、これ以上増やさないことが前提ですが、今こそ助け合いが必要な気がします。相手の立場に立つて物事を考え、相手の思いを受容する。これは日頃私たちが利用者様を支援させて頂いている理念そのものなのですが、今こそその支援に対する理念を日常生活にも反映させていかなければならないのではないのでしょうか。

まずはコロナ禍の終息が第一です。私達職員もより一層気を引き締めて感染予防に努めながら、利用者様の支援を行ってまいりたいと考えております。

(記事 岡野達朗)